



# ナース☆アクション



## 看護学生と看護学校を守ろう

～国は危機感を持って対応を！～



看護学生・看護職養成校支援の拡充を求めて粘り強く省庁交渉を継続中

9月11日に衆議院第2議員会館にて、内閣府・文科省・厚労省と交渉。  
看護学校事務長会議メンバーを中心に要望事項を練り上げて交渉に臨み、オンラインでも80人以上が傍聴参加しました。

国家資格取得を目的とする国の認可校の中で、私立の養成校のみに母体法人の経営状態を主とした機関要件を課すのは不平等であり、どこの学校に通っても学生が平等に給付型奨学金などが受けられるように機関要件を廃止することなどを強く求めました。この間の度重なる交渉と各界からの同様な要望を受けて、今年4月に文科省も「経営困難な医療法人が運営する専門学校に対して、確認事務の丁寧な対応を求め」る事務連絡を発出しており、機関要件の瑕疵を半ば認めています。看護職養成校が次々と閉校されている中で、危機感を持った国の対応を引き続き求めていきます。

交渉には、日本共産党の吉良よし子参議院議員が共に要請し、田村貴昭衆議院議員秘書、白川よう子参議院議員秘書も同席しました。

## 秋のナースアクションの取り組みを強めましょう

全民医発(46)第ア-695号2025年7月14日

“民医連の事業と経営をまもり抜き、地域医療の崩壊をなんとしてもくい止めるための緊急行動提起”を軸としたアクションが各地で取り組まれています。看護協会との懇談など他団体とのかわりの中でも民医連の運動への共感が寄せられています。

全国で自治体要請行動や、職能団体との懇談を展開し、100万人署名をなんともやり抜きましょう！

◆12月15日(月)17時15分からオンライン活動交流集会を開催します【追って通達しますが、予定しておいてください】。

